

# イベント運営向け コロナ対策 用 イベント参加者管理システム ▶ 開発プロジェクト

SD-6班

# 目次

1.企画の概要

2.企画の目的と目標

3.企画概要

# 企画の背景

- ▶ 電通ライブより、「新型コロナウイルス対策マニュアル」が公開されている。

その中に、お客様にマスクの着用をお願いしそれができなければご入場はお断りするという事またスタッフも全員マスク着用を義務化するなどが書かれています。それだけマスクの着用が重要だとわかりました。なのでこのシステムを利用することで、マスクの有無を見逃すことは限りなく少ないためマスクの有無を見逃さない点においては90%対策できると考えています

また、今実験的に収容率の80%まで上げてイベントを開催しているところがある。収容率の80%は人が多く入るのでマスク着用しているかを見逃してしまう可能性がある。

したがって、マスクをしていない人を見逃さないようにするシステムが必要になってくると考えた

# 企画の目的と目標

## クライアント: 株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ

ライブや展示会などの各種イベント時に、参加者のマスクの有無や個人情報、参加人数を管理する際に使用する。

それにより、参加者のデータを一括で管理できるほか入場管理時の人員を削減することが出来る。

カメラは基本的に会場に固定されている監視カメラを使う。

また、この会社ではWebアプリの企画・制作・運営なども行っているため、性能・機能などは高いものが求められると考えられる。

# 企画の目的・目標

目的:

イベント参加者情報のまとめ・管理を簡素化し、  
同時に人件費を削減する

目標:

入場するときまたは入場してから、マスクをしているかして  
いないかを検知するプログラムを作る  
このコロナ禍の中で、安全なイベントを運営する助けとなる

# 企画概要

1.企画概要の説明

2.機能一覧

3.システム構成図

4.画面例

# 企画概要の説明

- ・イベントの参加者のマスクの有無・個人情報・人数を一括で管理できるようなウェブアプリケーションの作成
- ・複数のカメラで真正面の位置にいる人のマスクの装着を検知する

# 機能一覧

## ウェブアプリケーション:

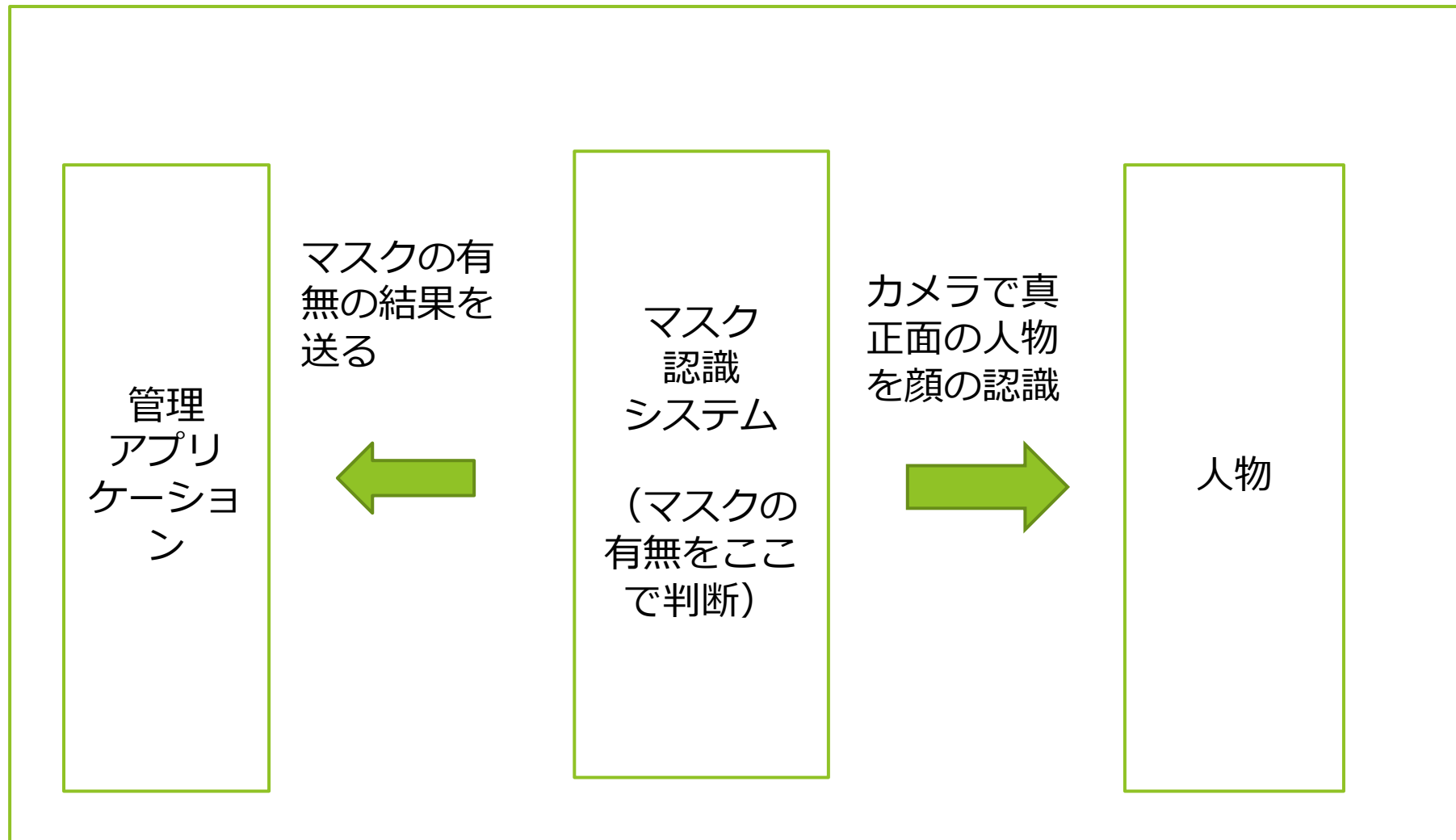
- ・イベント参加者の体調・個人情報・人数をまとめ、管理する

## カメラ:

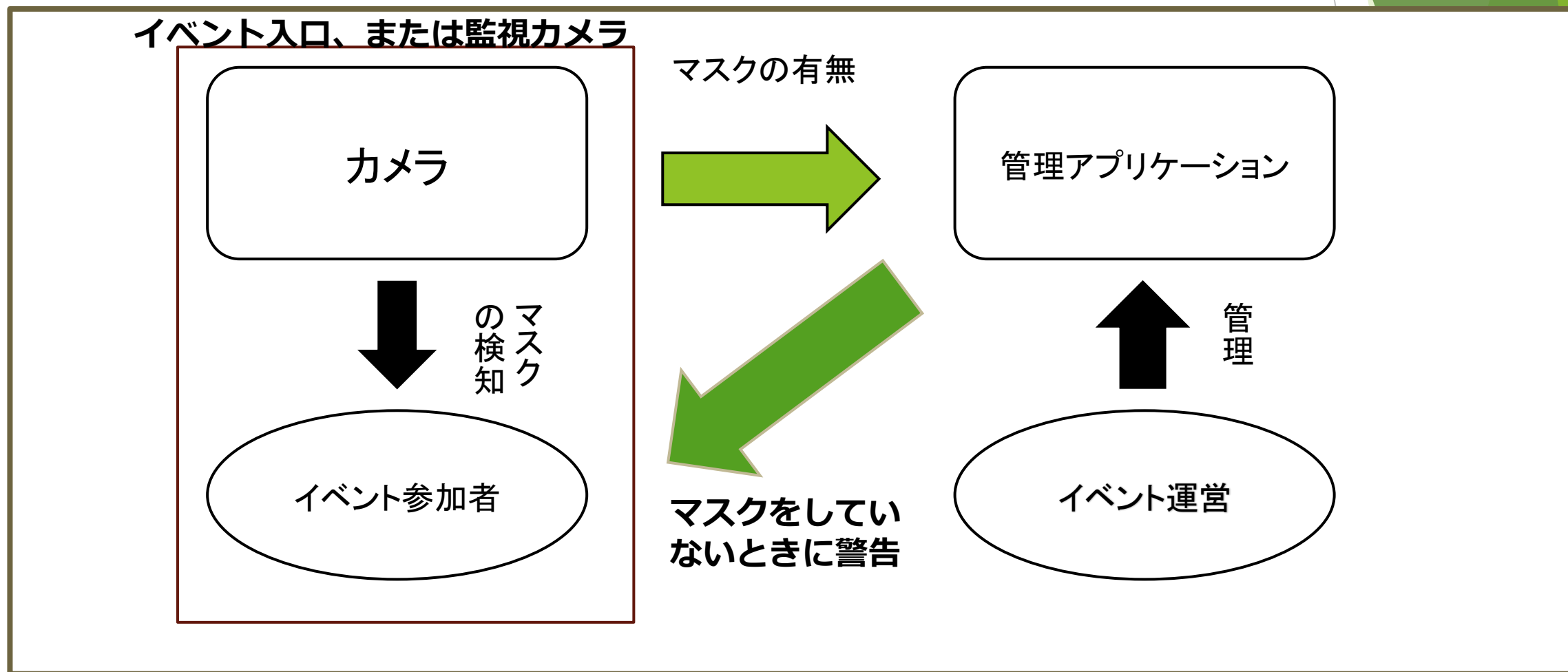
- ・複数のカメラを使ってのマスクの有無を検知する
- ・人物間の距離の測定



# マスク検知の詳細



# システム構成図



# 画面例



The screenshot shows a web browser window with the address bar containing the file path C:\Users\user\Desktop\画面例.html. The browser tab is titled 'イベント参加者管理アプリケ...'. The main content area displays the title 'イベント参加者管理表' and a table with the following data:

参加者ID	氏名	体温	入場記録
#0001	〇〇太郎	36.5	済
#0002	△△花子	35.9	

# 開発スケジュール

月	内容
10月	詳細設計 単体テスト
11月	結合テスト
12月	総合テスト

# 類似サービスの調査

● イベントクリエイト(ソーシャルワイヤー株式会社)

主な機能: 来場者受付(出欠確認など)

参加者リストの作成

# 類似サービスの調査

● イベントクリエイト(ソーシャルワイヤー株式会社)

主な機能: 来場者受付(出欠確認など)

参加者リストの作成

→ マスクの有無を検知することで、  
より現代にあった受付・管理をすることが出来る

# まとめ

- ・今後、新型コロナウイルスと向き合っていく上で、  
このようなシステムは必要なものとなる
- ・マスクの有無を検知することができれば入った後に気が緩んでマスク外した人も監視でき、より新型コロナ感染症の予防になる